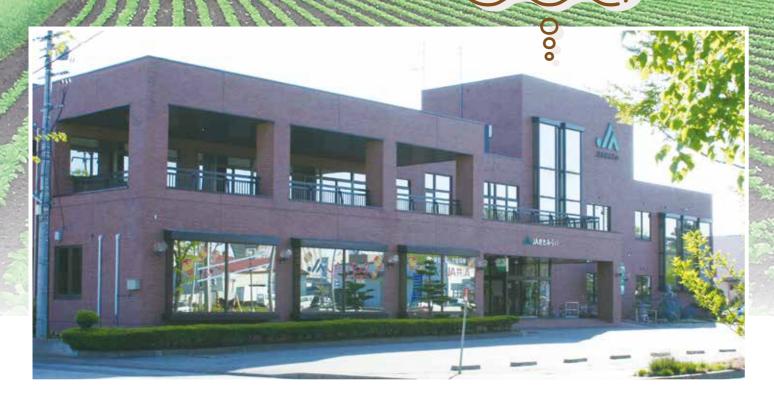
組織概要



■ 名 称

きたみらい農業協同組合

■ センター所在地

北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号

■ 代 表

代表理事組合長 大坪 広則

■出資金

4,866百万円

■ 組合員数

7,495名

(うち正組合員数 1,599名、うち准組合員数 5,896名)

■ 組合員戸数

906戸

(温根湯62戸、留辺蘂33戸、置戸76戸、訓子府262戸、 相内66戸、上常呂94戸、北見142戸、端野171戸)

■職員数

401名(うち正職員数 280名)

沿革

2012年

2003年 | きたみらい農業協同組合発足 (温根湯・留辺蘂・置戸・訓子府・相内・上常呂・北見・端野)

2004年 豆類乾燥施設施工

2006年 小麦乾燥調製貯蔵施設竣工 玉葱貯蔵施設竣工

2009年 小麦乾燥調製貯蔵施設増設

2010年 哺育育成センター竣工

2014年 生産資材拠点センター竣工

2018年 玉ねぎ冷蔵貯蔵施設竣工

2019年 第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画

玉ねぎ集出荷施設竣工

馬鈴しょ集出荷選別施設竣工

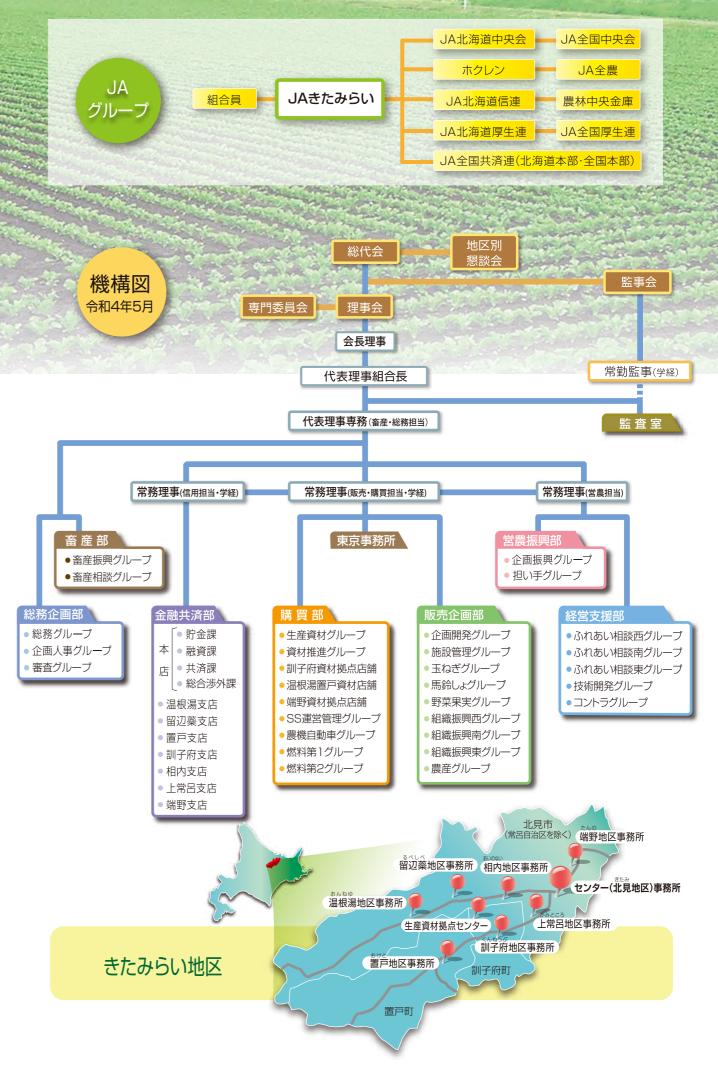
2021年 車両整備工場竣工 玉ねぎ茎葉処理施設竣工

特別優良表彰の受賞

JA全中の農業協同組合表彰規程に基づく各審査要件を満たし、2021年に特別優良表彰JAの賞をいただきました。

特別優良表彰JAの期待に沿えるよう、今後も地域農業の振興から地域社会の活性化を図り、第5次中期経営計画のスローガンとなっている「心と地域の豊かさを求めて」、組合員・地域の皆様から愛される"JAきたみらい"を目指し、引き続き事業活動を展開して参ります。





JAきたみらいの事業



JAの事業は農家組合員の営農サイクルに 合わせた事業を展開しています。

営農計画の樹立 6 資金・資材の調達 貯蓄·生活資金 農家の 営農と生活 5 3 農畜産物の生産 販売物の代金回収 生産物の販売

営農指導事業

農家組合員が自主的に技術や農業経営など、営農に関わる 内容や生活を改善するための協同活動を助言・支援する事業

- 行政等と連携した農業振興
- 補助事業等の実施業務
- 営農振興部 ●担い手支援
 - 教育·広報活動

経営支援部 畜産部

- ●「出向く営農」の実施
- ・農畜産物栽培の技術指導
- 経営相談の実施
- 組合員窓口対応
- 総合的地域開発業務

販売事業

農家組合員が生産した農畜産物をJAが集荷し、付加価 値をつけて販売するという事業

販売企画部

畜産部

- 作目別部会事務局
- 農畜産物の集出荷・選別・販売
- 販売戦略の構築・
 - きたみらいブランドの確立
- ●選果施設の管理
- ●加工品の開発

購買事業

農業生産に必要な資材や生活物資を共同購入し、組合員

購買部

- ●「出向く購買」の実施
- 生産資材の安定供給
- 農業機械・車両の供給・修理
- ガソリン・灯油・軽油等燃料の供給

信用事業・共済事業

信用事業 組合員からの貯金を受入れし、これを組合員に貸し付ける 相互金融によって、営農と生活の改善・向上をはかる事業

くらしの相互保障活動として、くらしに生じる不時の災害、 共済事業 組合員及び家族の老齢化や家屋等の老朽化などについて損 害の補てんや蓄えとして長期的にくらしの安定を図る事業

●「出向く信用・共済推進」の実施 ●貯金の受入れ、引出しに係る窓口業務

共済部

- ●融資の相談業務
- 共済契約者訪問活動
- ●共済契約者の事故、入院等への対応
- ●共済加入者の相談対応

管理部門

経営管理、活力ある健全な職場づくり、職員教育等、組織を 支え運営していくための活動を行う

総務 企画部

- ●年次計画・決算・財務に関する業務
- 中期経営計画・人事・労務に関する業務
- リスク管理・コンプライアンスに関する業務

監査部門

経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、内部管理体 制が適切か評価し、問題点の改善方法について助言・支援を行う



- 監査の実施・内部統制の有効性評価
- の内部監査による情報収集と 業務処理の効率化にむけた提案指導
- 不正·不当事件の未然防止

令和3年度 JAきたみらいの主な作目の作付面積、生産量、畜産物取扱高

部門	区分	品			面積(ha)	生産量(t)
	水	Э·	るち	玄米	34.9	178.3
	稲	ŧ	ち	玄 米	667.3	4,445.2
	水		稲	計	702.2	4,623.5
	_	春	力	麦	1,160.1	5,687.0
	麦類	秋	Ŋ	麦	3,944.7	28,547.5
	親	大		麦	_	_
	麦		類	計	5,104.8	34,234.5
農		大		豆	814.9	1,908.5
辰		小		豆	256.0	472.3
	豆	金		時	2.1	4.4
	\(\pi \)	虎		豆	12.1	18.7
	類	大		福	18.4	21.4
産	755	白	花	豆豆	66.8	139.6
17		紫	花	豆豆	38.5	75.9
		そ	σ	他	36.8	85.8
	豆		類	計	1,245.6	2,726.6
	7 /		Ь	菜	3,426.1	207,410.9
	そ		ば	33.7	30.3	
	U			そ	18.4	0.6
	薬			草	0.1	0.2
	農		産	計	10,530.9	249,026.6

549	957	100	868	595		3
区分	品				面積(ha)	生産量(t)
	玉	れ	J	ぎ	4,619.2	217,250.8
馬	食			用	1,282.6	41,109.2
鈴	種	子	2	用	331.2	9,516.2
U	加	I	-	用	529.3	17,409.3
ょ	澱	原	Ę	用	2.5	141.8
馬	鈴	U	ょ	計	2,145.6	68,176.5
	ほ	うれ	lh	草	1.5	28.6
	ス~	<u>/-</u>	`]-	-ン	426.1	4,942.2
	Х]	ン	6.8	156.9
	白			菜	16.7	1,003.2
	人			参	53.6	1,514.3
田マ	レ	5	7	ス	2.8	76.2
野"	ご	lā	Ĕ.	う	7.0	200.9
	長			芋	3.7	55.5
菜	か	ぼ	5	ゃ	35.7	452.3
	赤	玉	ね	ぎ	125.4	5,371.6
	ア	ス	パ	ラ	1.9	7.3
	$^{\sim}$	\Box		ス	8.9	119.7
	その	の他	青果	物	344.2	7,262.8
野		菜		計	1,034.3	21,191.5
青		果		計	7,799.1	306,618.8
産	· 青	果	合	計	18,330.0	555,645.4
	鈴しょ 馬 野 菜 野 青	工馬野菜野ま食種加澱鈴ほスメ白人レご長か赤アペそ	表表野菜野要まままよよよ <td< td=""><td>表名表名素名上上<t< td=""><td>あしま 語馬鈴しよ 馬種 加 澱 あ う 1 トロ か まん 1 トロ タ ば 玉 スコ 他 青 果 ま 計 計</td><td>玉 ね ぎ 4,619.2 馬食 用 1,282.6 鈴種子用 331.2 山工用 529.3 澱原用 2.5 馬鈴しよ計 2,145.6 ほうれん草 1.5 スイートコーン 426.1 メロン 6.8 白菜 16.7 人参 53.6 レタス 2.8 ごぼう 7.0 長芋 3.7 かぼちゃ 35.7 赤玉ねぎ 125.4 アスパラ 1.9 ペコロス 8.9 その他青果物 344.2 野菜計 1,034.3 青果計 7,799.1</td></t<></td></td<>	表名表名素名上上 <t< td=""><td>あしま 語馬鈴しよ 馬種 加 澱 あ う 1 トロ か まん 1 トロ タ ば 玉 スコ 他 青 果 ま 計 計</td><td>玉 ね ぎ 4,619.2 馬食 用 1,282.6 鈴種子用 331.2 山工用 529.3 澱原用 2.5 馬鈴しよ計 2,145.6 ほうれん草 1.5 スイートコーン 426.1 メロン 6.8 白菜 16.7 人参 53.6 レタス 2.8 ごぼう 7.0 長芋 3.7 かぼちゃ 35.7 赤玉ねぎ 125.4 アスパラ 1.9 ペコロス 8.9 その他青果物 344.2 野菜計 1,034.3 青果計 7,799.1</td></t<>	あしま 語馬鈴しよ 馬種 加 澱 あ う 1 トロ か まん 1 トロ タ ば 玉 スコ 他 青 果 ま 計 計	玉 ね ぎ 4,619.2 馬食 用 1,282.6 鈴種子用 331.2 山工用 529.3 澱原用 2.5 馬鈴しよ計 2,145.6 ほうれん草 1.5 スイートコーン 426.1 メロン 6.8 白菜 16.7 人参 53.6 レタス 2.8 ごぼう 7.0 長芋 3.7 かぼちゃ 35.7 赤玉ねぎ 125.4 アスパラ 1.9 ペコロス 8.9 その他青果物 344.2 野菜計 1,034.3 青果計 7,799.1

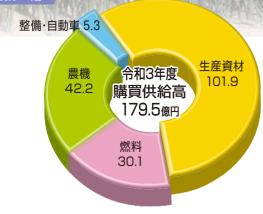
6	h		No.		
部門	区分	呾			数量(t·頭)
		生	乳	(t)	89,753
		育	成	牛	865
	乳	初	妊	牛	1,020
畜	牛	経	産	牛	408
		乳	牛計	(頭)	2,293
		初	生上	、ク	5,180
	肉	素		#	2,470
ᆓ		肥	育	牛	289
産	牛	廃	用	牛	1,657
		牛口	肉 計	(頭)	9,596
	そ		豚		320
	の		馬		15
	他		計	(頭)	335

地域耕地面積(農産·青果·畜産) 24,775.7 ha

JAきたみらいの農産・青果・畜産取扱高品目別構成



生産資材·燃料·農機 他



OF REAL PROPERTY AND ADDRESS.

信用·共済事業 他

貯 金 1.175.5億円 借入金...... 80.3億円 貸出金 …………………… 135.2億円 預 金 ……………… 1.069.9億円 短期受入共済掛金……… 8.0億円 長期共済保有高…1,903.3億円 長期共済新契約高…… 115.5億円

剰余金 その他収益 事業収益の推移 その他費用 事業総利益 事業管理費



※平成30年度事業収益推移には、新施設竣工に係る補助金の費用・収益計上を含む





単体自己資本比率の推移	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	25.92%	24.27%	23.21%	23.52%	25.02%	

固定比率の推移

,	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	182.8%	192.7%	194.7%	188.5%	167.4%

(令和4年度1月末現在)

第三者 意見

准教授 小林 国之氏



昨年のCSRレポートが出された時からの食や農にまつわる状況の変 化は著しいものがあります。これまでも大事だと言われてきた「食料安 全保障 |という言葉の意味を、実感をもって考えることが多くなったので

はないでしょうか。長引く景気低迷、デフレ不況のもとでは食料品価格は安いに越したことはない。 これまでも食料安全保障が取り沙汰されたことは何度かあるが、そのたびにその危機はさらなる国 際化・貿易自由化の進展によって「切り抜けられて」きました。安い食を支えてきたのが海外からの 輸入であり、それによって国内農業も厳しい国際競争にさらされてきました。

ですが今回、我々が目にしているのは、そうした手段では切り抜けることが出来ない危機、むしろ そうしたさらなる国際化・貿易自由化がかえって食料安全保障を不安定にしてきたという事実で す。そうしたなかで、国内でいかに食料を安定的に生産するのか、その意義が試されています。そし てその役割を担うものとして、これまでも責任ある生産を実現してきたJAへの期待が高まってい ます。

安定的な生産体制をJAきたみらいは生産者の団結・協同の力によって実現してきました。小麦 馬鈴薯、玉ねぎなどの集出荷施設は協同のシンボルでもあります。こうしたサプライチェーンを生 産者自らが投資して整備してきたことは、食料安全保障を支えている重要な要素です。そしてこう した大きな投資を実現し、運営していくためには生産者の協同が欠かすことができません。農林水 産祭天皇杯を受賞された玉葱振興会に代表されるような各生産者組織が育んできた協同の精神 を、是非とも次の世代にも受け継いでいって欲しいと期待します。

さらには組合員、JAがよって立つところの農村地域には豊かな魅力とともに、様々な課題も抱え ています。組合員は農業者であるとともに生活者です。農業生産による経済的豊かさの実現ととも に生活者としての豊かさの実現にむけて、より力強く取り組んでいくことが、回り回って「食料安全 保障」にもつながると考えます。生活者としての豊かさは、自分達だけではなく、地域の人々ととも に実現するものです。その意味でCSRレポートにある農業の魅力、食の大切さを伝える取組ととも に、フードバンク活動の実施など、ますますJAに期待される役割は大きくなっていくでしょう。こうし た課題にも正面から取り組んでいくことを期待します。

略 歴 1975年北海道生まれ。北海道大学大学院農学研究科を修了の後、助教を経て、2016年 から現職。主な研究内容は、農村振興に関する社会経済的研究として、新たな農村振興の ためのネットワーク組織や協同組合などの非営利組織、新規参入者や農業後継者が地域社 会に与える影響など。

主な著書 『協同組合のヌーベルバーグ』2020年 筑波書房(共著) 『北海道から農協改革を問う』2017年 筑波書房(編著) 総合農協のレーゾンデートル』2016年 筑波書房(共著) 『ホクレン販売事業にみる経済連の組織機構と機能』2013年 農文協 『日中韓農協の脱グローバリゼーション戦略』2013年 農文協 『農協と加工資本 ジャガイモをめぐる攻防』 2005年 日本経済評論社 家の光協会『地上』において「小林国之の協同組合LABO」を連載中

